

令和3年3月29日
ぐんまみらい信用組合

第15回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第15回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、次回会議は、令和3年度決算状況を踏まえて本年8月頃に開催する予定にしております。

記

1. 日 時

令和3年2月2日（火） 午前11時00分～午後0時50分

2. 場 所

ホテルサンダーソン 2階 会議室

3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

石川 利一 (公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)

石綿 和夫 (高崎商工会議所 専務理事)

小林 優公 (弁護士)

樋口 努 (群馬県商工会連合会 専務理事)

矢野 修一 (公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

八高 武 (理事長)

小野 和茂 (専務理事)

大野 米雄 (常勤理事)

新井 伸章 (常勤理事)

多胡 忠浩 (常勤理事)

羽石 良夫 (常勤監事)

4. 八高理事長挨拶要旨

さて、当組合は9月の仮決算において黒字決算となりましたが、これも委員の皆様のご指導・ご尽力の賜物と感謝申し上げます。現在、当組合では、実質無利息無担保融資等の円滑な実行により、事業者の資金繰りの迅速な対応を強化し、事業承継等お客様の事業存続と発展に資するよう金融仲介機能を発揮し、これまで以上にスピード感を持って、外部機関との連携を図り、お客様へのサポート業務に努めております。委員の皆様には、引き続き当組合の運営に対して、ご助言・ご提案を頂ければと考えております。

5. 当組合からの説明要旨

当組合より以下の内容について説明いたしました。

- ・令和2年9月末仮決算の状況について
- ・経営強化計画の進捗状況について
- ・前回提言にかかる取組状況について

6. 意見交換要旨

出席者の皆様から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- ・協同組織金融機関は地域密着のよき相談相手と言われるが、コロナ禍ではこれまでの営業活動が難しい状況であり、新たな時代の動きに対応しながら現場の声を拾い上げてほしい。
- ・県の制度融資に積極的に取り組まれているが、手元資金の厚い先そうでない先もあると思うので、今後の資金繰り支援にも確り対応願いたい。
- ・先行きが見通せない状況では事業者は消極的な姿勢になるが、ピンチはある面でチャンスと言われており、ビジネスモデルの転換や事業承継等の対応も取りながら企業の発展や存続に繋げてほしい。
- ・コロナ禍におけるテレワークの普及によって、スモールビジネスを開始するハードルが下がったこと等から、創業支援等にも力を入れていただきたい。金融機関が経営者を育成し一緒に成長していくことが必要になってくると思う。
- ・デジタルトランスフォーメーションへの対応が求められる中で、小規模事業者はデジタル化の対応が遅れており、相談に乗りながらその対応を進めてもらいたい。
- ・脱炭素化に向けた動きに対して、取引先の中には経営の舵を切って方向転換しようとする動きも出てくると思うが、その対応に確り取り組んでいただきたい。

以 上